

「ファーストクラスでの作法」「フェラーリ」「コンプレック

平成の金持ち

日本人の「83人に一人」が資産1億円以上!
「庶民」との違いは細部

【マネー最前線レポート】

簡単なお手伝いをしただけでも、「ありがとう」という言葉が返ってくる。
「感謝の気持ちを表に出すことを常に意識しているのでしょう。ある真珠会社の会長さんは海外旅行の際に、

「ありがとうございます」を形で示す

費用のベンでメモを取る

そこで気付くのは彼らが例外なくメモ魔ということ。「入国審査の紙を配つても、ファーストクラスのお客様にペンを貸してと頼まれることはない。彼らはこだわりのペンや万年筆を持ってますから。一方、エコノミークラスでは最低10本くらいは頼られます」(同)

席間距離にゆとりがあるにもかかわらず、乗客同士で挨拶を交わすこともあります。「パリアを張らずに懐に飛び込んでくるのがファーストクラスのお客様です。彼らは、相手の眼を見ながら話をする印象がある」(同)



「ファーストクラスのお客様から学んだことは多い」(美月あきこさん)

に乗る理由」「会員制クラブの内幕」からス」「資産運用」まで大追跡

50の法則

案外多いような気もするが、「ユニクロ」「マック」好きも少なくない。
に宿る!?



お金持ちだけが味わえる
極上の世界——その象徴として
してファーストクラスを思
い浮かべる人は多い。国際
線CAを経験し、現在は人
財育成コンサルタント。と
して活躍する美月あきこさ
んがいう。

「飛行機のファーストクラ
スは、300席の場合だと
9席というのが一般的です。
この数は全体の席数の3%
程度。国内における富裕層
人口は約2%なので、その

比率とほぼ同じになる。そ
の乗客は、富裕層市場の縮
団ともいえます」

起業家と開業医が2大職種
乗客の職種は、マイレー
ジ利用などを除くと、ある
種の傾向を持つという。
「個人でチケット代金を支
払う乗客のほとんどは、起
業家や医師といった限られ
た職種の方々です。大企業
の経営者はあまり見かけま
せん」(同)

高額納税者として想像さ
れがちな弁護士、会計士な
ども、そこにはいない。富
裕層研究の第一人者で、「日
本のお金持ち研究」の著書
もある同志社大学経済学
部・橋木俊詔教授が解説す
る。

日本には現在147万人の資産1億円以上の富裕層がいる。「国民83人に一人」という市場規模はアジア1位。その資産は金融危機前を上回る水準にまで回復しているという。国の消費市場に大きな影響を与える彼らの「行動特性」とはいかなるものか——その「秘密の扉」を開けてみた。

ファーストクラスに乗り人のシンプルな習慣

比率とほぼ同じになる。そ

の乗客は、富裕層市場の縮

団ともいえます」

靴の中を他人に見せない
ファーストクラスに乗る
人の作法は、出色だという。
再び美月さん。
「マナーが優れています。
スリッパに履き替える際は、
脱いだ靴に靴ベラを入れ目
立たない場所に置く」

「マナーが優れています。
スリッパに履き替える際は、
脱いだ靴に靴ベラを入れ目
立たない場所に置く」

